

## 『『未知への挑戦』とくしま行動計画』改善見直しシート(要改善評価抜粋)

	ターゲット	重点戦略	主要施策	ページ
1	2 「強靱とくしま・安全安心」の実装	4 みんなで守り育てる！「安全安心な地域づくり」の推進	2 ひとに寄り添い支える体制づくり	1
2	3 「発展とくしま・革新創造」の実装	4 世界スタンダード！徳島未来教育の創造	3 充実した学びの推進	2
3			4 豊かな心と健やかな体の育成	3
4	4 「躍動とくしま・感動宝島」の実装	2 世界へ飛躍！「スポーツ王国とくしま」新次元の進化	2 徳島アスリートの育成強化	4



ターゲット3 「発展とくしま・革新創造」の実装

【重点戦略4】  
世界スタンダード！徳島未来教育の創造

主要施策:3 充実した学びの推進			戦略会議評価														
			要改善														
番号	行動計画 該当箇所		工程(年度別事業計画)				実績値 (R1)	達成率	主要事業 判定	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局	
	位置 づけ	該当頁	(現行) 主要事業の概要・数値目標	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)					2022 (R4)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)			2022 (R4)
408	3-4-3	159	●すべての学校・園に学力向上検討委員会を設置し、学力向上推進員を中心に児童生徒の学力向上を図るとともに、各学校の取組みを情報発信します。＜教育＞  ○「全国学力・学習状況調査」における 県平均正答率 (19)～(22)調査で対象となっている 国語・算数(数学)で全国平均正答率以上	全国 平均 正答率 以上					全国 平均 正答率 以下	0%	●すべての学校・園に学力向上検討委員会を設置し、学力向上推進員を中心に児童生徒の学力向上を図るとともに、各学校の取組みを情報発信します。また、ICTを十分に活用した授業改善を行い、個別最適化された学びを実現します。＜教育＞					タブレット等の端末が一人一台導入されるのに伴い、タブレット等の端末を有効活用して、児童生徒の資質・能力を伸ばしていく。端末利用の長所を見極めた授業展開や児童生徒の個々の状況に応じた学習を推進し、学力向上につなげる。	教育
409	3-4-3	159	●子どもの読書活動推進計画に基づき、子どもの主体的な読書活動を促すために、書評合戦(ビブリオバトル)を校種別に実施し、読書の喜びを体感させるとともに、学校図書館と家庭・地域及び各市町立図書館との連携、地域の図書館ボランティアの活用など読書環境の整備強化を図ります。＜教育＞  ○一日10分以上読書(新聞等を含む)をする 児童生徒の割合 小5(17)89%→(22)94% 中2(17)79%→(22)89%	推進						91% 81%	97%						教育
410	3-4-3	159	●子どもの学習意欲や確かな学力の向上につなげるとともに、中学生の主体的な進路選択に資するよう、公立高校普通科の通学区域制の在り方を見直します。＜教育＞  ○普通科高校の通学区域制の在り方を見直し (19)見直し・(20)一部先行実施・(21)実施	推進						見直し	100%						教育
411	3-4-3	159	●県立夜間中学を設置することにより、学び直しを必要とする者や外国籍の者など学校における就学の機会を提供を希望する者に対し義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会を確保を図ります。(再掲)＜教育＞  ○全国初の県立夜間中学の開校 (21)開校	推進						-	-						教育
412	3-4-3	159	●「徳島県幼児教育振興アクションプランⅢ」により、幼児の生活の連続性及び発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実を図ります。また、幼稚園・保育所・認定こども園・家庭・地域・行政等が連携し、幼保合同の教員研修や行事の実施など総合的な幼児教育の展開を図ります。＜教育＞	促進													教育

ターゲット3 「発展とくしま・革新創造」の実装

【重点戦略4】  
世界スタンダード！徳島未来教育の創造

主要施策:4 豊かな心と健やかな体の育成			戦略会議評価																
			要改善																
番号	行動計画 該当箇所		工程(年度別事業計画)				実績値 (R1)	達成率	主要事業 判定	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局			
	位置 づけ	該当頁	(現 行) 主要事業の概要・数値目標	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)					2022 (R4)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)			2022 (R4)		
413	3-4-4	160	●児童生徒の実態把握をもとに、学校・家庭・地域が連携した取組みを実施し、児童生徒の体力向上を図ります。また、「元気なあわっ子憲章」のもと、子どもたちが健康について学び、自ら考え、実践できるよう、学校・家庭・地域・専門機関等が連携して取り組みます。特に、子どもたちの望ましい生活習慣の定着を図るため、すべての小中高校で生活習慣改善計画を策定し、実践に取り組みることにより、肥満予防・肥満対策、生活習慣病予防対策を推進します。さらに、朝食摂取や生活習慣病予防など、発達段階に応じた望ましい生活習慣の形成に向けた取組みとともに、飲酒・喫煙・薬物乱用に対する正しい知識理解を深め、望ましい行動選択ができる子どもの育成を目指します。<教育>	推進						C	●児童生徒の実態把握をもとに、学校・家庭・地域が連携した取組みを実施し、児童生徒の体力向上を図ります。また、「元気なあわっ子憲章」のもと、子どもたちが健康について学び、自ら考え、実践できるよう、学校・家庭・地域・専門機関等が連携して取り組みます。特に、子どもたちの望ましい生活習慣の定着を図るため、すべての小中高校で生活習慣改善計画を策定し、 <b>タブレット端末を活用した</b> 実践に取り組みることにより、肥満予防・肥満対策、生活習慣病予防対策を推進します。さらに、朝食摂取や生活習慣病予防など、発達段階に応じた望ましい生活習慣の形成に向けた取組みとともに、飲酒・喫煙・薬物乱用に対する正しい知識理解を深め、望ましい行動選択ができる子どもの育成を目指します。<教育>					タブレット等の端末が一人体導入されるのに伴い、タブレット等の端末を有効活用した生活習慣改善への取組みを実施する。	教育		
			○「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果において全国平均を上回る種目数 (17) 11種目→(19) ~ (22) 毎年17種目					17種目	17種目	17種目	17種目	9種目	52%						
			○全ての公立学校児童生徒の学校保健情報を電子化 (17) → (22) 運用									-	-						
			○肥満傾向の児童生徒数(小中学校) (再掲) (17) 4,979人→(22) 2017年度比6%減	1.5%減	3%減	4.5%減	6%減	8%増	0%										
			○小中学校への栄養教諭の配置人数(再掲) (17) 57人→(22) 64人	61人	62人	63人	64人	61人	100%										
			○栄養教諭・学校栄養職員による食に関する授業を半分以上の学年で実施する小・中学校の割合 (17) 100%→(19) ~ (22) 100%	100%	100%	100%	100%	94%	93%										
			○薬物乱用防止教室を開催する中・高等学校の割合 (17) 100%→(19) ~ (22) 100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%										
414	3-4-4	160	●児童生徒が目標を持って運動に取り組むことができるよう、楽しみながら児童生徒の運動習慣の確立を図ります。<教育>	推進							A								
			○小・中学生のICTを活用した手軽にできる運動のランキング判定システムの参加グループ数 (17) 3,535グループ→(22) 4,000グループ	3,700グループ	3,800グループ	3,900グループ	4,000グループ	3,885グループ	100%										教育
415	3-4-4	160	●牟岐少年自然の家を活用し、地域住民の参画を得て、地域の自然や文化活動を活かした自然体験、交流体験、食育等を推進します。<教育>	推進							A								教育
			○牟岐少年自然の家を拠点とし、地元住民との交流を含む自然体験・交流体験等の参加者数 (17) 800人→(19) ~ (22) 年間900人	900人	900人	900人	900人	857人	95%										
416	3-4-4	160	●道徳教育の充実を引き続き取り組むとともに、家族と一緒に話し合うなど家庭や地域と連携して道徳教育を推進します。<教育>	推進							-								教育

ターゲット4 「躍動とくしま・感動宝島」の実装

【重点戦略2】  
世界へ飛躍！「スポーツ王国とくしま」新次元の進化

主要施策:2 徳島アスリートの育成強化			戦略会議評価														
			要改善														
番号	行動計画 該当箇所		工程(年度別事業計画)				実績値 (R1)	達成率	主要事業 判定	(改善見直し案) 主要事業の概要・数値目標	工程(年度別事業計画)				改善見直しの理由及び概要	部局	
	位置 づけ	該当頁	(現 行) 主要事業の概要・数値目標	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)					2022 (R4)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)			2022 (R4)
482	4-2-2	175	●本県の競技力向上を図るため、ジュニア期から優れた素質を有する競技者を発掘し、トップレベルの競技者へと育てる「一貫指導システム」の構築と「トップ指導者の養成」に努めるとともに、企業や大学等のスポーツ選手強化・育成事業への支援や、元オリンピック選手等による講習会やセミナーの開催等により、未来のトップアスリートの育成や県内選手の強化に取り組めます。<未来>	推進						C	●本県の競技力向上を図るため、 <b>団体競技の強化や「お家芸」の復活、優秀な選手・指導者の確保、接戦を勝ち抜くサポート体制の構築、本大会を想定した競技備品の整備など、抜本的な対策を戦略的かつ重点的に展開します。さらに、関係機関・団体により構成される「徳島県団体飛躍対策本部」を立ち上げ、当該策本部を中心として、有効な対策をタイムリーに実施します。</b> <未来>					「国体天皇杯30位台」の実現に向け、関係機関・団体が一丸となり、抜本的な対策を戦略的かつ重点的に展開する。	未来
			○国民体育大会天皇杯順位 (’17) 46位→(’19)～(’22) 毎年30位台	30位台	30位台	30位台	30位台	47位	0%								
			○元オリンピック選手等によるジュニア選手の指導 (’19)～(’22) 実施					実施	100%								
483	4-2-2	175	●2022年に四国で開催する全国高校総体に向け、各競技団体と連携しながら、有力競技の集中強化やお家芸競技の創出に取り組み、国際大会や全国大会等で活躍するトップアスリートの育成・強化を図ります。 また、早い段階での有力選手の発掘・育成を進めるため、活躍が期待できる競技を選考した上で中学校段階での指導体制強化を図ります。<教育>	推進						C	●2022年に四国で開催する全国高校総体に向け、各競技団体と連携しながら、有力競技の集中強化やお家芸競技の創出に取り組み、 <b>科学的なトレーニングを実施することにより</b> 国際大会や全国大会等で活躍するトップアスリートの育成・強化を図ります。 また、早い段階での有力選手の発掘・育成を進めるため、活躍が期待できる競技を選考した上で、中学校段階での <b>指導者のスキルアップを図るなど指導体制強化に取り組めます。</b> <教育>					競技力向上・選手育成に当たっては、「日々の食生活や栄養指導」及び「メンタル強化」なども含めた、科学的なトレーニングを実施する必要があります。 また、中学校における競技力の向上は、指導者の技量によるところが大きいので、指導者のスキルアップを図る必要があります。	教育
			○全国高等学校総合体育大会等の入賞(団体・個人)数 (’17) 47団体・個人→(’19)～(’22) 50団体・個人	50団体・個人	50団体・個人	50団体・個人	50団体・個人	40団体・個人	80%								
			○全国中学校体育大会等の入賞(団体・個人)数 (’17) 5団体・個人→(’19)～(’22) 13団体・個人	13団体・個人	13団体・個人	13団体・個人	13団体・個人	7団体・個人	53%								
			○有力中学選手「高校生との合同練習会」の実施 (’17) →(’19)～(’22) 「NEO徳島トップスポーツ校」で100%実施	100%	100%	100%	100%	100%	100%								
484	4-2-2	176	●全国高校総体や国民体育大会において上位入賞を目指す高校生トップアスリート育成するため、全国大会上位成績の他県強豪チームを招待し、交流試合等を実施します。トップレベルの競技力を体感することにより、チームや個人の競技力向上を推進するとともに、指導者の育成を図ります。<教育>	推進						-						教育	
485	4-2-2	176	●スポーツ拠点校である鳴門渦潮高校の「スポーツ科学科」の充実した施設・設備を活用し、より高度で質の高いスポーツ教育を行い、本県スポーツ科学の普及・振興を図ります。<教育>	推進						-						教育	
486	4-2-2	176	●世界で活躍する徳島アスリートの育成強化と、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の地元機運醸成および出場機会の創出を図るため、地元小学生等を対象にした「サーフィンスクール」を開催するほか、トップアスリートによる実技講習を開催します。 <南部>	開発	推進						A					南部	
			○小学生を対象にしたサーフィンスクールの実施回数(累計) (’17) →(’22) 5回	2回	3回	4回	5回	2回	100%								
			○トップアスリートによる実技講習の実施(累計) (’17) 1回→(’22) 6回	3回	4回	5回	6回	3回	100%								